

# お知らせ

株式会社 エネコム  
〒730-0051 広島市中区大手町二丁目11番10号

2025 年 11 月 26 日

## 人財価値戦略の策定について

株式会社エネコム（本社：広島県広島市、取締役社長：岡部 恵二）は、経営ビジョン「[from Enecom](#)」の「エネコムが目指す姿（3 Core Visions）」の実現に向けたアクションとして、人的資本経営を目指していくにあたり、「人財価値戦略」を策定したことをお知らせします。

人財価値戦略では、「人的資本の拡充」「DE&I」「学び（キャリア自律・リスクリング）」「ウェルビーイング」の4つを柱に定め、3つの課題 [ 確保・育成・活躍 ] へ取り組みます。

当社は、「あなたの理想」を実現するため、社員一人ひとりが成長し活躍することで、企業の持続的成長と競争力向上につなげ、みなさまから信頼される企業を目指します。

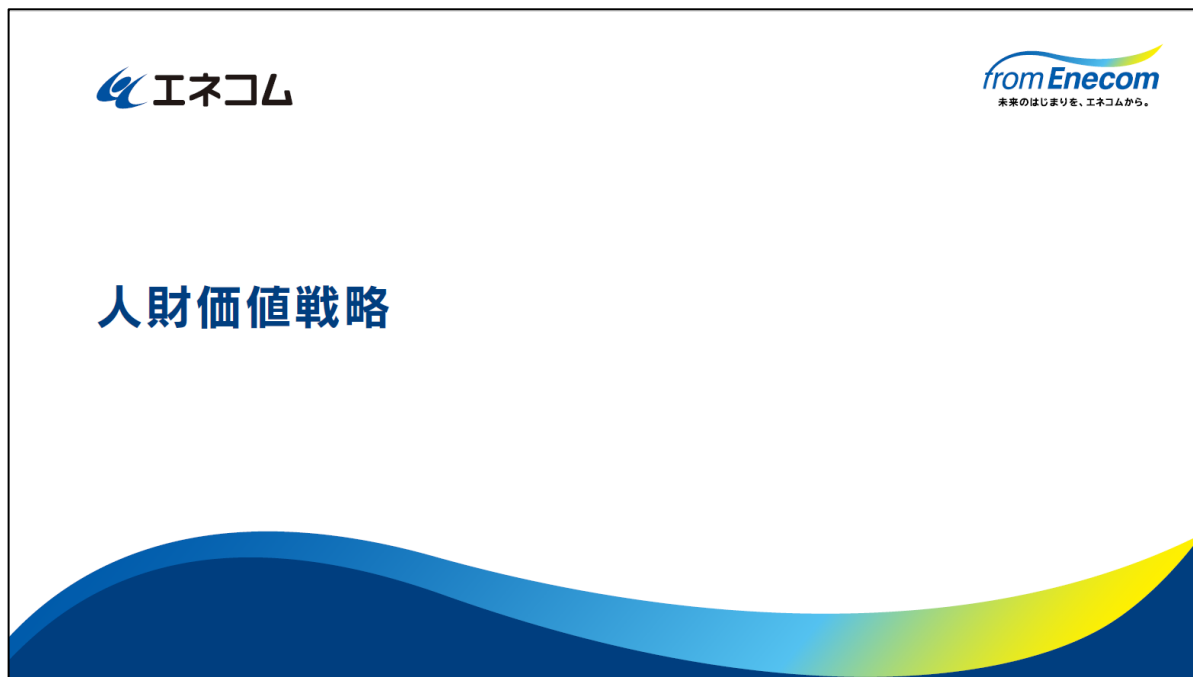
以 上

添付資料 別紙

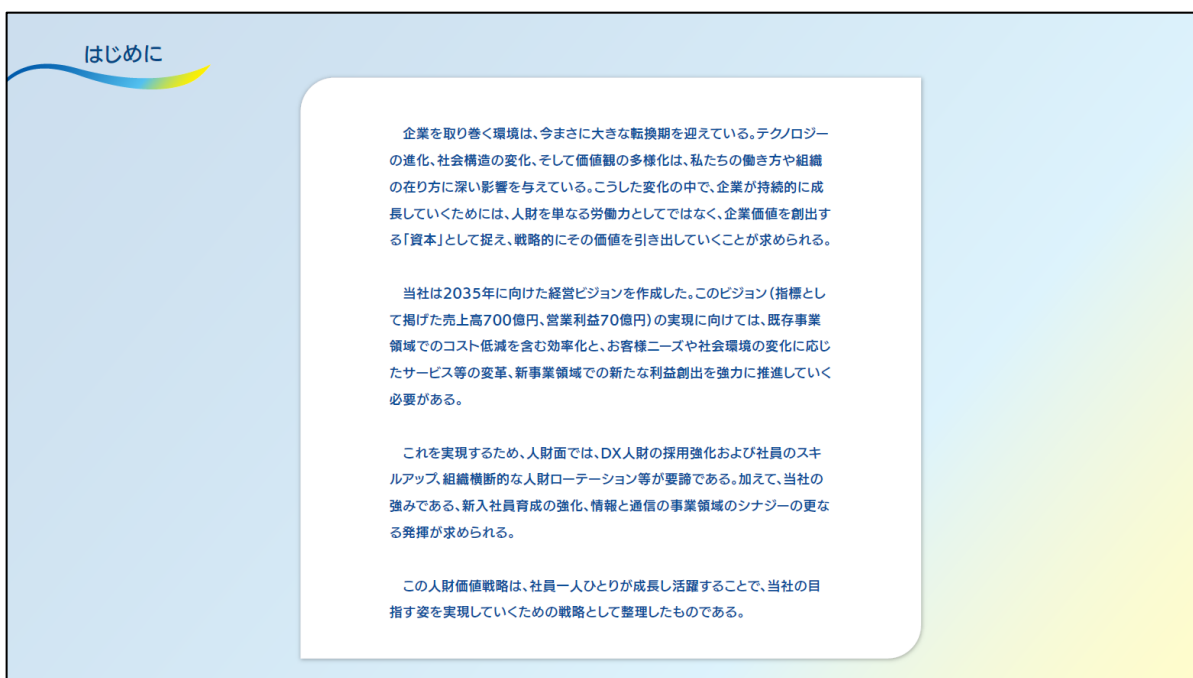
本件に関するお問い合わせは、下記までお願いします。  
株式会社エネコム サステナブル経営戦略部 石田・大山  
TEL：050-8201-1505（平日 9:00～17:00）



## ■ 人財価値戦略

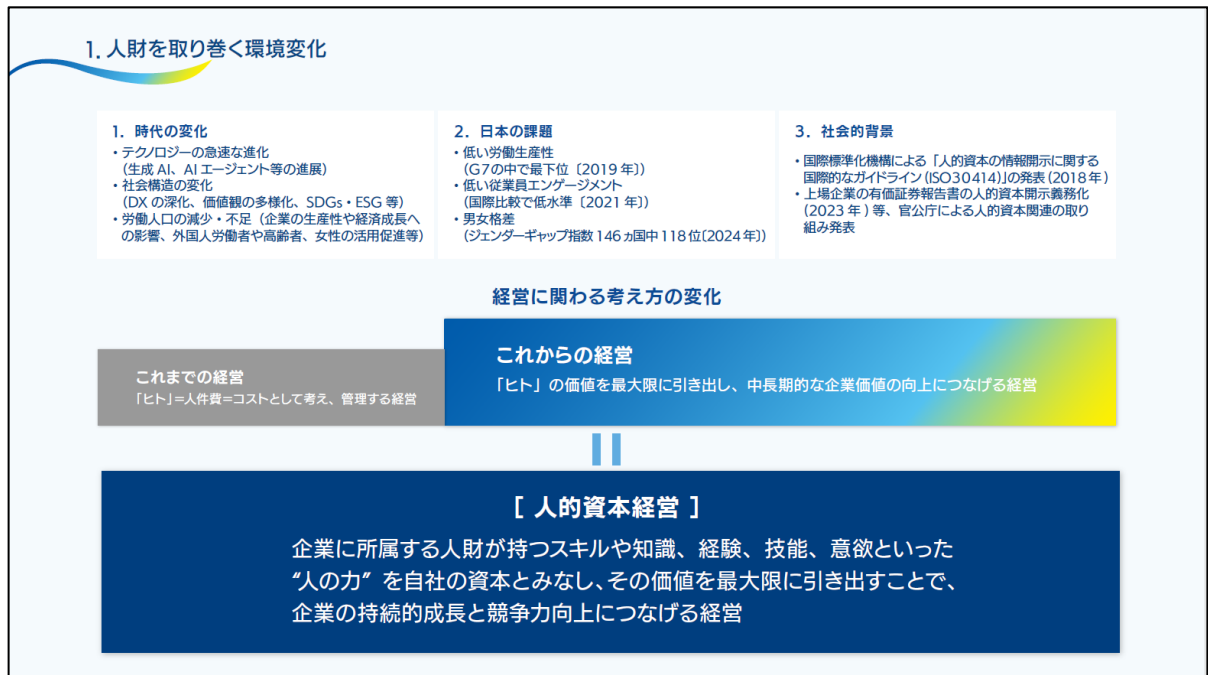


## ■ はじめに





## ■ 1. 人財を取り巻く環境変化

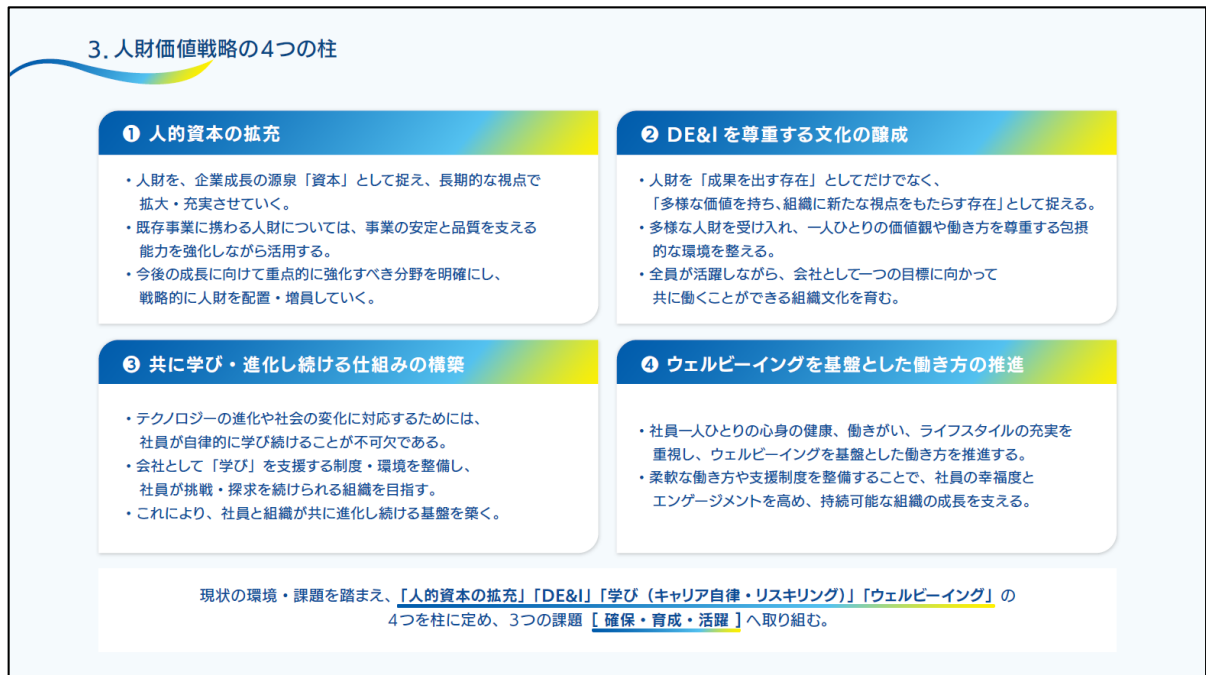


## ■ 2. ビジョン実現に向けた課題





### ■ 3. 人財価値戦略の4つの柱



### ■ 4. 経営ビジョンと人財価値戦略の位置づけ





## ■ 5. 具体的取組み「確保」(1/3)

5. 具体的取組み「確保」(1/3)		
 <b>確保</b>		
[取組み項目]		[内 容]
<b>採 用</b>	重点職種の採用強化	付加価値の高い DX 業務を担える人財として、IT エンジニアを中心に採用を強化する。 採用にあたっては、技術力に加え、課題解決力やコミュニケーション力を兼ね備えた人財を優先する。
	新卒・キャリア採用のバランス	新卒採用を採用戦略の軸とし、地元の教育機関との連携を深めながら、地域と共に成長できる人財の確保を進める。一方で、即戦力となるキャリア採用やアルムナイ採用も柔軟に行う。
	多様な人財の受け入れ	外国籍人財の採用を含め、多様な人財を積極的に受け入れる。 DE&I を推進し、創造性とイノベーションを生み出す組織文化を育む。
<b>外部リソースの活用</b>		協力会社や派遣社員など、外部パートナーの力を引き続き活用し、持続的で安定した組織基盤を構築する。 社内人財との連携を強化し、成果最大化を目指す。
<b>ブランディングの強化</b>		企業ブランドの向上を図り、働きがいのある職場としての魅力を発信する。

## ■ 5. 具体的取組み「育成」(2/3)

5. 具体的取組み「育成」(2/3)		
 <b>育成</b>		
[取組み項目]		[内 容]
<b>育 成</b>	キャリアパスの設計	スキルが共通する部門間での連携を強化し、育成の観点から流動的な異動を可能にする。 職種別・階層別に成長モデルを提示し、社員が自身のキャリアを描きやすい仕組みを構築する。
	情報分野スキルの保有	情報分野のスキルを体系的に習得させることで、事業の幅を広げ、 変化に強い組織を構築するとともに、新たな価値の創造に取り組む。
	ゼロからの 育成プログラムの整備	新入社員を育てるための多様な育成プログラムを整備し、継続的なフォローアップを実施する。
	全社教育体系の再構築	各本部毎の教育体系の棚卸により、職種別・階層別の教育プログラムを再構築する。 自ら考え挑戦と探求を続ける人財を育成し、組織の成長を実現する。



## ■ 5. 具体的取組み「活躍」(3/3)

5. 具体的取組み「活躍」(3/3)		
 <b>活躍</b>		
[取組み項目]		[内 容]
<b>配 置</b>	重点分野への配置強化	DX、情報技術、セキュリティ分野において、戦略的に人財を重点配置する。 これにより、既存領域の確実な成長と新規領域への挑戦を両立させる。
	柔軟な配置と適材適所の実現	社員のスキル・志向・パフォーマンスをもとに、柔軟かつ戦略的な人財配置を行う。 多様な人財が一人ひとりの強みを活かすことで、組織全体の生産性と創造性を高める。
付加価値の 高い業務への シフト	AI の積極的活用	一定割合の業務を AI に置き換えることで、社員はより付加価値の高い業務に集中できるようにする。 AI との協働により、業務の質とスピードを向上させ、組織全体の生産性と創造性を高める。
<b>ローテーションの推進</b>		スキルが共通する領域でのローテーションを積極的に行い、社員の視野拡大とスキルの多様化を促進する。 これにより、柔軟な人財活用と組織の対応力を強化する。